

令和7年度 浜松市立水窪小学校 学校評価報告書

1 自己評価

自己評価結果、考察及び改善方策
別紙のとおり

2 学校関係者評価

2月18日(水)に開催した学校関係者評価委員会(学校運営協議会)において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・ ありがとう・ごめんなさいが言える、友達と協力できる、楽しさを感じているといった、これから人として必要なところがいい評価になっているところに安心した。
- ・ 水窪の色が出ていると感じている。評価の低い部分は、水窪の大人について感じているところでもある。自分から進んで、自分を出すという部分は、足りないところがあると改めて感じた。
- ・ 水窪・佐久間地区は、塾等がなく、競争心が生まれにくい。アンケートで評価が低い部分は、児童・保護者が、こうありたい、こうであってほしいという思いが強く、学校を頼っている部分もあるのではないかと。
- ・ いじめ防止基本方針についての取り組みについては、先生方が子供のことを考え動いてくれていることが分かった。一人一人違うので、先生方も一人一人に対して毎月アンケートを取り、その子に合った対応をしていることがわかる。毎年いい方向になるよう考えてくれていることがよくわかり、感謝している。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・ 「計画を立て、自分の力で解決していく力」を育むために、各教科の学習活動や適地教育の活動の中で、自分たちで計画や準備を行い、主体的に活動を進める場を意図的に設定していく。さらに、子供たちが、各活動の意味を考え、主体的に活動に参加できるよう、全職員で支援をしていきたい。
- ・ いじめに対する取り組みとして、今年度同様、毎月の学校生活アンケートを実施するとともに、アンテナを高くもち、子供たちの気持ちの変容をとらえ、いじめの未然防止に努めていく。そのためにも、日頃から積極的に子供たちに関わり、子供たちや保護者の方々との信頼関係を深め、相談しやすい雰囲気づくりを心掛けていきたい。

◎……80%以上達成
 ○……50~80%
 ▲……50%以下
 (%)……R6

令和7年度 水窪小学校評価アンケート結果

1.自分の役割を果たすことができる【み】

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	◎	6%(34%)	82%(61%)	12%(5%)	0%(0%)
保護者	○	25%(25%)	50%(75%)	25%(0%)	0%(0%)
職員	◎	13%(13%)	88%(67%)	0%(0%)	0%(0%)

2.お互いのよさを認め合うことができる【み】

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	◎	29%(77%)	71%(23%)	0%(0%)	0%(0%)
保護者	◎	13%(37.5%)	75%(62.5%)	13%(0%)	0%(0%)
職員	◎	38%(50%)	63%(50%)	0%(0%)	0%(0%)

3.自分の思いを堂々と伝えることができる【み】

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	○	12%(44%)	53%(50%)	35%(6%)	0%(0%)
保護者	○	0%(12.5%)	63%(50%)	38%(37.5%)	0%(0%)
職員	◎	25%(17%)	63%(67%)	13%(17%)	0%(0%)

4.自分の力で課題を解決することができる【さ】

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	○	6%(23%)	71%(61%)	24%(16%)	0%(0%)
保護者	▲	0%(12.5%)	50%(50%)	50%(37.5%)	0%(0%)
職員	○	0%(0%)	63%(50%)	38%(50%)	0%(0%)

5.友達と協力して課題を解決することができる【さ】

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	◎	47%(83%)	53%(11%)	0%(6%)	0%(0%)
保護者	○	13%(25%)	63%(75%)	25%(0%)	0%(0%)
職員	◎	13%(33%)	88%(50%)	0%(17%)	0%(0%)

6.学びを振り返り、次に活かすことができる【さ】

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	◎	12%(56%)	71%(38%)	18%(6%)	0%(0%)
保護者	○	13%(12.5%)	63%(62.5%)	25%(25%)	0%(0%)
職員	◎	75%(34%)	25%(34%)	0%(34%)	0%(0%)

7.目標に向かって努力することができる【く】

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	◎	12%(83%)	76%(17%)	12%(0%)	0%(0%)
保護者	○	0%(0%)	63%(100%)	38%(0%)	0%(0%)
職員	◎	50%(50%)	50%(50%)	0%(0%)	0%(0%)

8.計画を立て、実行することができる【く】

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	◎	6%(61%)	65%(39%)	29%(0%)	0%(0%)
保護者	▲	0%(12.5%)	50%(37.5%)	50%(50%)	0%(0%)
職員	○	13%(0%)	38%(100%)	50%(0%)	0%(0%)

9.自分をきたえることができる【く】

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	○	6%(67%)	71%(22%)	24%(11%)	0%(0%)
保護者	▲	0%(12.5%)	25%(37.5%)	75%(37.5%)	0%(12.5%)
職員	○	13%(0%)	63%(84%)	25%(16%)	0%(0%)

10.よりよい自分になろうと努力することができる【ぼ】

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	◎	24%(61%)	65%(39%)	12%(0%)	0%(0%)
保護者	○	0%(12.5%)	75%(75%)	25%(12.5%)	0%(0%)
職員	◎	0%(50%)	88%(50%)	13%(0%)	0%(0%)

11.夢中になって学習や行事、活動に取り組むことができる【ぼ】

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	◎	35%(61%)	65%(39%)	0%(0%)	0%(0%)
保護者	◎	0%(25%)	100%(75%)	0%(0%)	0%(0%)
職員	○	38%(84%)	38%(16%)	25%(0%)	0%(0%)

12.自分で判断し、行動することができる【ぼ】

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	◎	24%(50%)	65%(38%)	12%(12%)	0%(0%)
保護者	○	0%(0%)	75%(87.5%)	25%(12.5%)	0%(0%)
職員	○	0%(16%)	63%(50%)	38%(34%)	0%(0%)

13.学校が楽しい/学校に楽しく通っている

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	◎	35%(94%)	47%(6%)	12%(0%)	6%(0%)
保護者	◎	38%(87.5%)	50%(12.5%)	13%(0%)	0%(0%)
職員	◎	75%(100%)	25%(0%)	0%(0%)	0%(0%)

14.学校の授業が分かる/学校の授業を理解している

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	◎	12%(61%)	71%(39%)	18%(0%)	0%(0%)
保護者	○	0%(25%)	75%(62.5%)	13%(12.5%)	13%(0%)
職員	○	0%(16%)	75%(84%)	25%(0%)	0%(0%)

15.家庭学習をしっかりと行っている

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	◎	35%(61%)	53%(33%)	12%(0%)	0%(6%)
保護者	○	13%(12.5%)	50%(25%)	38%(62.5%)	0%(0%)
職員	◎	0%(0%)	88%(84%)	13%(16%)	0%(0%)

16.友達や先生、地域の方にあいさつができる

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	◎	59%(88%)	41%(12%)	0%(0%)	0%(0%)
保護者	◎	25%(75%)	63%(25%)	13%(0%)	0%(0%)
職員	◎	38%(50%)	63%(50%)	0%(0%)	0%(0%)

17.「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言える

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	◎	47%(77%)	53%(23%)	0%(0%)	0%(0%)
保護者	◎	38%(37.5%)	50%(62.5%)	13%(0%)	0%(0%)
職員	◎	25%(0%)	75%(100%)	0%(0%)	0%(0%)

18.学校には、自分の居場所があり、自分のことを認めてくれる友達や先生がいる。(R6新項目)

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	◎	24%(88%)	71%(12%)	6%(0%)	0%(0%)
保護者	◎	25%(62.5%)	63%(37.5%)	13%(0%)	0%(0%)
職員	◎	63%(84%)	38%(16%)	0%(0%)	0%(0%)

19.学校や先生は相談しやすい

	評価	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
児童	○	18%(72%)	41%(28%)	29%(0%)	12%(0%)
保護者	○	13%(37.5%)	50%(62.5%)	25%(0%)	13%(0%)
職員	◎	63%(34%)	38%(56%)	0%(0%)	0%(0%)

教育アンケート結果考察

《評価の良かった点》

児童へのアンケートでは、多くの項目で達成度80%以上となった。保護者についても概ね良い評価をいただいた。

子供たちは、友達の良さを認め、協働する楽しさを感じながら、学校生活を送ることができていることがうかがわれる。適地教育を含めた多くの体験活動や幼小中合同の活動などにも、積極的に取り組むことができている。

また、昨年度から取り組むキャリアシートを基に、一年間を通して子供たち一人ひとりが自身の目標を確かめながら、それに向かって取り組み、自身の成長を感じることができたと考えられる。

上記の温かい学校の雰囲気「学校が楽しい」「夢中になって学習や行事、活動に取り組む」の高評価につながっている。

【来年度に向けて】

引き続き全員が「学校が楽しい」と思えるよう、一人一人が活躍できる教育活動を計画したり、少人数を生かした学習指導に取り組んだりしていく。

子供たち自身がさらに自己肯定感を高められるよう、子供たちの変化や成長を保護者、地域に発信し、地域全体で称揚していけるようにしていく。

《評価による改善点》

児童、保護者アンケートからは、「自分の力で解決する」「自分をきたえる」「計画を立てて実行する」の評価が低い。自分の意見を発信したり、自分で努力して困難を解決したりすることが弱いと考えられる。保護者は、子供たちにチャレンジ精神や粘り強さが乏しいと感じている方が多い。授業の中で全員が自分の考えや思いを発信する場を意図的に設定したり、少しハードルが高い目標を設定させ、その目標達成方法を考えさせたりして、自分の力でできる子を増やしていきたい。

【来年度に向けて】

計画を立て、自分の力で解決していく力を育むために、適地教育をその場と考えていく。毎年の活動も多く、受け身になりがちなところを、来年度は、活動の意味を考えさせ、自分たちで計画や準備を行い、主体的に活動に参加させていく。今年度、キャリアシートを活用しての取り組みについて、面談時に保護者へ実物を見せながら説明をしてきたが、来年度はさらに、進捗状況などについても学年便り等でお知らせしていき、子供たちが自身の目標に向けて取り組む姿をしっかりと伝えていきたい。

家庭学習については、内容や出し方を考え、子供たちが興味をもって意欲的に取り組めるものへとさらに工夫していく必要がある。

《いじめに対する取り組みについて》

いじめに対する取組として、毎月、学校生活アンケートを実施した。そのアンケートにより、子供たちの様子を把握し、学校が楽しくないと思っている子や、困っていることがある子をつかみ、個別に話を聞く等して、子供たちの悩みを早期発見し、いじめの未然防止に努めている。また、毎月いじめ対策委員会を開催し、子供たち一人ひとりの様子を全員で共有し、職員全体で子供たちを支援している。

【来年度に向けて】

引き続き、毎月の学校生活アンケートを実施するとともに、アンテナを高くもち、子供たちの気持ちの変容をとらえ、いじめの未然防止に努めていく。

学校評価アンケートから「学校や先生は相談しやすい」と思わない児童、保護者が少なからずいることがわかった。日頃から積極的に子供たちに関わり、子供たちや保護者との信頼関係を深め、相談しやすい雰囲気づくりを心掛けていく。